

20008

集中治療室とアンギオ室のプール制に伴う、病棟看護師の育成プログラムを作成して

【目的】アンギオ室は集中治療室とプール制となり、病棟看護師が8週間でアンギオ介助が実践できるように、チェックリストと経験項目一覧表を作成した。これらが病棟看護師にとって、育成プログラムとして有用であったかを明らかにする。

【方法】チェックリストは、各項目4週目と8週目の自己評価Aの個数を比較した。経験項目一覧表は、一人で受け持ちができた項目数の割合を比較した。【結果】チェックリストは、A評価が8週目で増加する5項目は、習得の成果が得られる

項目と言え、重要習得ポイントである。この項目は、早期から指導を行い繰り返し実践する事で指導効果が高まると考える。A評価が少ない2項目は、習得が難しかった項目と言え、段階的に習得するステップアップポイントである。この項目

は、介助に慣れた後半に指導を行う事が効果的であると考え。経験項目一覧表は、一人で受け持ちができた項目数の割合は45～74%、全員が経験できた項目は5項目(CAG・PCI・PVI・TACE・頭部AOG)であった。この5項目は、頻繁に行

われるためアンギオ室看護師として一人で介助できる事が必要であり、最重要検査項目と言える。今後この5項目を、重点的に指導していく必要がある。【結論】1、病棟看護師はチェックリストを使用する事で、重要習得ポイントとステップアッ

プポイントが理解できる。2、病棟看護師は経験項目一覧表を使用する事で、一人で受け持つ事が必要な最重要検査項目が理解でき実践で活かせる。以上の2点より育成プログラムは有用であったと言える。